

テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

FF14 備忘ログ(PATCH2.0) サブクエスト

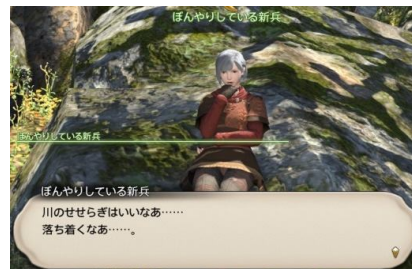
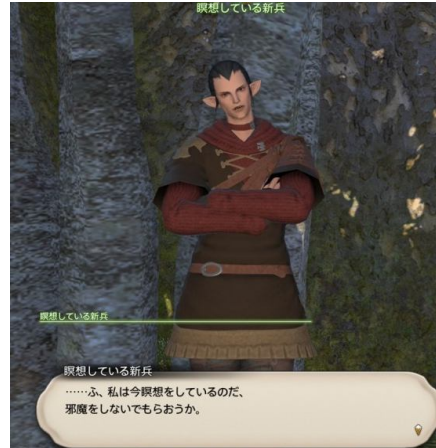
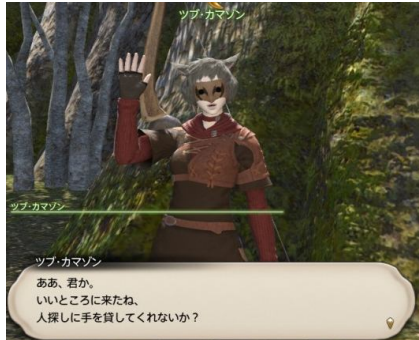


黒衣森編

中央森林

新兵教育の悩み

ツブ・カマゾン： ああ、君か。いいところに来たね、人探しに手を貸してくれないか？
ひと月前に配属された新兵のうち3名が、訓練の時間になっても集合場所に来ていないのだ。
おそらく、疲れてどこかでサボっているだろう。
さほど遠いところには行っていないと思う。見つけ出してツブ・カマゾンが探していたと伝えてくれ。



瞑想している新兵： ……ふ、私は今瞑想をしているのだ、邪魔をしないでもらおうか。
……何、ツブ・カマゾン様が探しているだと……！？ やっべえ！ 格好つけてる場合じゃないって！ はい、戻ります！！

ぼんやりしている新兵： 川のせせらぎはいいなあ…… 落ち着くなあ……。
え？ なになに？ 何なの？ ツブ・カマゾン様が探してたって？ うわわわわ、もうそんな時間か！ 戻らないと！！

居眠りしている新兵： ぐう……ぐう…… ……………むにゃ……
んん……もう、時間……？ ……ふああ……行かなきゃ……………

ツブ・カマゾン： ご苦労だったな。全員が戻ってきたのを確認したよ。
新兵が配属されると、だいたいこれくらいの時期にサボる者が出る。最初の緊張がとけて、気が緩むんだろうな。
叱るだけでなく、彼らが前向きに鍛錬に励むよう、上官の私が気をつけてやらないといけないな。

備えあれば憂いなし

アロルド：うう……イデデ…… 堀をかじっていたスクウィレルどもを駆除していたら、何匹かに手ひどく噛まれて、あちこち怪我をしちまってな……。おまけに、よりによって傷薬がきれてたんだ。すまないが、あんた「ハイポーション」を分けてもらえないか？もし持ちあわせていないなら、「バノック練兵所」の「よろず屋」で買えるはずだ。……分けてもらえれば、礼はする……頼んだぞ……！

アロルド：ああ、あんたか……。 「ハイポーション」を持ってきてくれたか？……ああ！ 助かった！ 約束どおり、礼をさせてもらう。受け取ってくれ。まさか、スクウィレルにあれほど手ひどく噛まれるとは。警備も慣れてきたと思い、気が緩んでいたようだ……。何ごととも初心を忘れるべからず、だな。



弓兵の教材調達

モルラン：おいお前、仕事を探しているなら、俺の依頼をうけないか？マリウステル教官が、新兵の教育のために「ボグヤーソンの甲殻」を使いたいそうだ。この近くの川に棲んでいる「ボグヤーソン」から「ボグヤーソンの甲殻」を4つ、手に入れてほしい。集めたらマリウステル教官に渡してくれ。



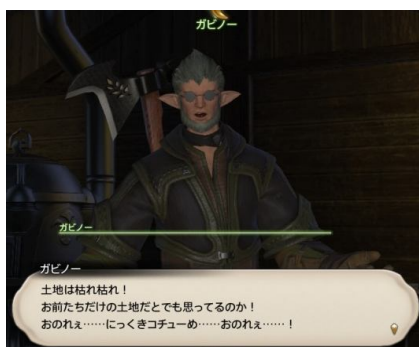
マリウステル：何の用だ？
モルランに頼んでいた「ボグヤーソンの甲殻」か！ よし、これで訓練が捗るな。新兵どもは、的を狙うのは得意でも実際の戦闘で魔物のどこを狙えばいいかを知らん。この甲殻を使ってボグヤーソンの急所を教えこむつもりだ。
これは、新兵どもの成長に一役買ってくれた礼だ。受け取ってくれ。

平穩の心を求めて

- ガビノー： おのれえ……につっき「パラサイトファンガー」めええ。私の大切な木に生えおって……おのれえ……
って、おお！？ もしや君、冒険者か！？ ちょうどいい、私の依頼を受けてくれ！
私を手塩にかけて育てた木に「パラサイトファンガー」が取り付いたのだ。奴らをそのままにしていれば、木が枯れてしまう！
この「琥珀色の薬液」を撒けば、パラサイトファンガーどもが木から剥がれ落ちる。そこを一網打尽にしてくれ！！
ふははははっ！ 憎きファンガーどもめ！ これで終わりだ！！
……ふう、すまない、少し取り乱してしまった。パラサイトファンガーが生えちゃったのは3箇所だ。
奴らを細切りにしたら、私に勝利の報告をしてくれ！
- ガビノー： おお！ パラサイトファンガーどもを駆除してくれたか！ よくやってくれたな！ これでようやく安眠できる……。
君は実に見所のある冒険者だな！ 本当にありがとう！

平穩の心を求めて 2

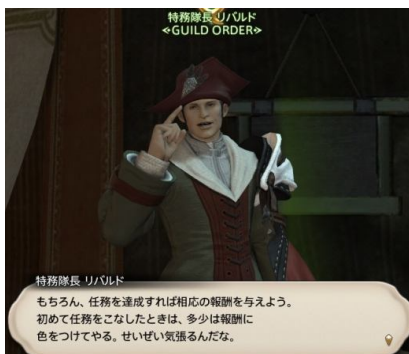
- ガビノー： 君の力を見込んで、もうひとつ頼みたいことがある。増殖したコチューに困っているんだ！
コチューには、土地の養分を吸う性質があるんだが、奴らチューチュー際限なく養分を吸いやがる！
土地は枯れ枯れ！ お前たちだけの土地だとも思ってるのか！ おのれえ……につっきコチューめ……おのれえ……！
……ふう、すまない。少し取り乱してしまった。とにかく……君には8匹ほどコチューを討伐してもらいたい。
コチューを倒したら、この小屋の外にいる**エルドフリス**に報告してやってくれ。あの土地のことを眠れないほど心配していたようだからな。



- エルドフリス： あんた、コチューを退治してくれたのか？ 本当に困ってたんだ、ありがとうよ！
ガビノー親方が、いつ手斧を片手に飛び出していくんじゃないかって、心配で眠れなかったんだ。
これで親方の心も落ち着けばいいんだが……。

発令ギルドオーダー（グリダニア）

- ティルニー： ギルドリーヴをこなせるあなたなら、「ギルドオーダー」も依頼できそうですね。
興味があるなら、あちらのテントにいる「特務隊長 **リバルド**」に話してみてください。あなたの冒険者としての実力は私が保証します。



- 特務隊長 **リバルド**： ティルニーから聞いているぞ。「ギルドオーダー」の任務を任せられる実力者だな。では早速、「ギルドオーダー」の説明をしよう。
こいつは、ギルドリーヴとはまた違った特殊な任務だ。ひとりでは達成できないのが、大きな特徴だな。
周辺住民や各組織から請け負う依頼のなかでも、特に難しい任務ばかりだからな……。お前たちの結束力が試されるだろう。
もちろん、任務を達成すれば相応の報酬を与えよう。初めて任務をこなしたときは、多少は報酬に色をつけてやる。せいぜい気張るんだな。
任務を受けたい時は私に声をかけてくれ。

マイトの卵の脅威

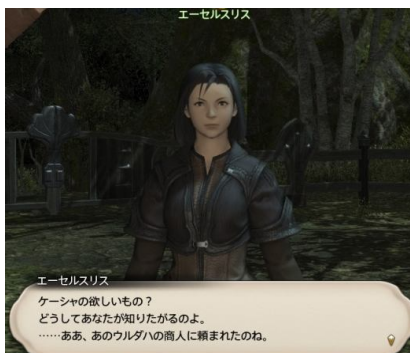
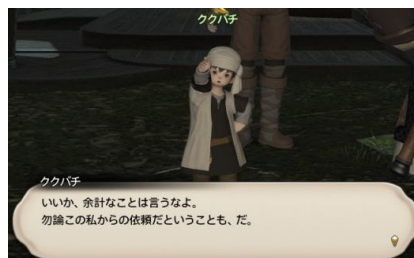
ロズリン：ここまで来たついでだ、ひとつ頼まれてくれないか？ 実は、足場にドワーフダイアマイトが卵を産みつけて困っているんだ。足場の掃除は鬼哭隊である私の仕事なんだが、その、苦手なのだ……「マイトの卵」が。マイトの卵は、上の足場と下の足場であわせて2箇所にある。頼む、代わりに卵を掃除してきてくれ！

ロズリン：「マイトの卵」を駆除したか。ご苦労だった。鬼哭隊として警備に就く以上凶暴な魔物は恐るに足らんのだが、卵のぶにぶにっとした感触だけは、どうにも、な……。ともかく、お前のおかげで助かった。ありがとう。



商人の切り札

ククパチ：おい、お前、冒険者だな？ ちょうどいい、報酬をはずむから仕事を引き受けろ。なに、簡単なことだ。この牧場主「ケーシャ」が「欲しいがるもの」がないか、牧場の奴らに聞きまわって、調べてくるんだ。いいか、余計なことは言うなよ。勿論この私からの依頼だということも、だ。



エーセルスリス：ケーシャの欲しいもの？ どうしてあなたが知りたがるのよ。……ああ、あのウルダハの商人に頼まれたのね。まったく、わかってないわね。ケーシャに物を贈りつけるより、ひとこと、チョコボを大切にしますって約束すればいいのに。

バナード：ケーシャさんの欲しいもの？ ふん、あの商人の差し金か。彼女はよそ者の贈り物なんかには、なびきはしない。彼女は、この俺の……じゃなくて、チョコボたちの女神なのだからな。いいか、万が一にでも彼女に迷惑をかければ、我ら鬼哭隊が黙ってはいない、と伝えておけ。

レオデール：ケーシャの欲しいもの……ねえ。彼女はチョコボのことしか目に入っていないからな。「チョコボが安心して暮らせる環境」以外に欲しいものなど、ないんじゃないかな。

ククパチ：首尾はどうだ？ これでチョコボを手に入れてがっばり……なんだと？ ほとんど聞き出せなかった？ ええい、使えん冒険者め！ グリダニアの石頭どもといい、まったく忌々しい。必要以上にチョコボに手をかけても赤字にしかならんだろうに。まあ、約束は約束だ。報酬を受け取れ。

鏡池棧橋の荷運び

ウォルセオフ： あんた、いいところに来たな。棧橋に届いた荷物を、依頼主に運ぶ手伝いをしてくれないか？
「真新しい板金鎧」を、衛士の「ダランメル」に、「ムントウイ豆」を、農婦の「カイレー」に、
「特製ザリガニボール」を漁師の「ベルト」に届けてくれ。
冒険者なら力仕事はお手の物だろ？ まずは棧橋に荷物を取りにいってくれよ。



ダランメル： うん？ 私に届け物だと？
真新しい板金鎧、確かに受け取った。うん？ 鬼哭隊が鉄の鎧を買うなんて珍しいか？
重装備のガレマル帝国兵攻略の参考にしようと思ってな。

カイレー： そろそろ届くはずなんだけどなあ。
ムントウイ豆？ ああ、やっと届いたわ！ 棧橋に届いた食料を陸路で各集落に配達してるんだけど、
ムントウイ豆だけ届かなくて困ってたのよ。
これで荷車が出発できるわ。届けてくれてありがとう。

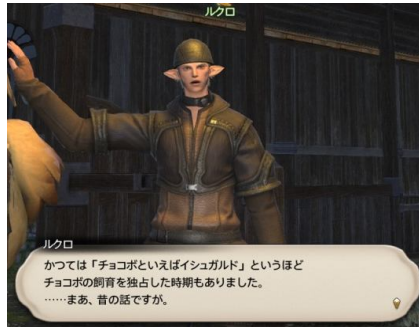
ベルト： ひいふうみい………… ううん、困りました。釣りエサがこれっぽっちじゃ漁になりません。
あら、ありがとうございます。魚を釣るには、まずエサがないと始まりませんから。届けてくれて助かりました。

ウォルセオフ： ご苦労、ご苦労。あれだけの荷物をささっと運んじまう身軽な身のこなしは、さすが冒険者だな。
棧橋の上に荷物を置いたままだと、次の船の荷物をおろせなくて困るからな。手伝ってくれて助かったよ。

柵作りの秘訣

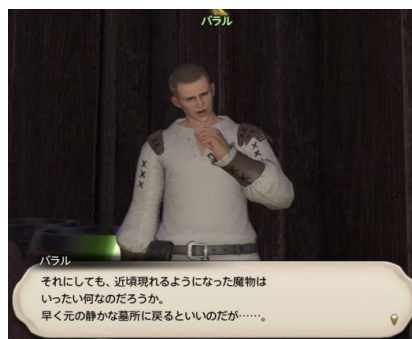
ルクロ : おや、見慣れない方ですね。冒険者ですか？ 少し、手伝ってほしいことがあるのですが。
近頃、牧場のチョコボにちょっかいを出す不届き者がいるようでして。チョコボたちにとって、ストレスになっているようなんです。
対策に、柵を増やそうと思ひまして。「新鮮なダイヤモンドウェブ」が必要なので、調達を頼めますか？
たしか、牧場の付近にいる「ダイヤモンド」から手に入れられるはずです。6体分もあれば十分でしょう。

ルクロ : ああ、新鮮なダイヤモンドウェブの調達を依頼した冒険者ですね。調子はどうですか？
……はい、ばっちりです。助かりました。柵作りには、この粘着力が欠かせませんから。
それにしても、柵作りに魔物の粘液を使うなんて、イシュガルドにいたころは考えもしませんでした。
……ああ、言っていないでしたね。僕は「イシュガルド」という都市の出身、グリダニアの者ではないんです。
かつては「チョコボといえどイシュガルド」というほどチョコボの飼育を独占した時期もありました。……まあ、昔の話ですが。
チョコボ飼育の指導を請われ、故郷を離れたがこうして逆に、学ばされることも多い。世の中、何があるかわからないものです。



墓所に手向ける花

フィンネア : お前、仕事欲しいのだろう？ ならばこの奥の「タムタラの墓所」の近くに建っている小屋に行ってみるといい。
小屋には「**バラル**」という墓守が住んでいて、タムタラの墓所の手入れをしている。
この間、様子を見に行ったら人手が足りないと言っていた。行けば何かしらの仕事はあるだろう。



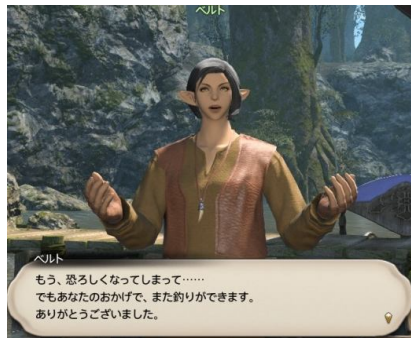
バラル : フィンネアから話を聞いて来てくれたんだ。それじゃ、この「ニメーヤリリーの花束」を
墓所上の祭壇に供えてきてくれないか。
このところ、祭壇の周りに、妙な魔物が現れるようになってね。こう騒がしくては、墓所に眠る者たちも落ち着かないだろう。
森のことを心配せず、安らかに眠れるよう、3箇所の祭壇にニメーヤリリーの花束を手向けてやってくれ。

バラル : ニメーヤリリーの花束を供えてきてくれたか。ご苦労だったね。
それにしても、近頃現れるようになった魔物はいったい何なのだろうか。早く元の静かな墓所に戻る方がいいのだが……。
まあ、とにかく手伝ってくれてありがとう。これは礼だ。

漁師の相棒

ベルト : あなた、強そうですね。もし腕に自信があるなら、その「睡蓮岩」から「愛用の釣竿」をとってきてくれませんか？
あそこで釣りをしていたら、突然怪しい鬼火が襲ってきまして……。慌てて逃げ帰ってきたのですが、その時に落としたようです。
多分、休憩用に建てたテントの側にあると思います。あの釣竿じゃないとうまく魚が釣れないのです。
私を助けると思って、お願いします！

ベルト : 私の「愛用の釣竿」が見つかったのですか？
ああ、これです！ 本当に助かりました。
昔から睡蓮岩で漁をしているのでそのあたりの虫程度は軽くあしらえるのですが、なにしろ、見たこともない怪しい鬼火でしたから。
もう、恐ろしくなってしまって……。でもあなたのおかげで、また釣りができます。ありがとうございました。



蜂漬けの毒酒

ウォルセオフ : もうひとつ仕事を引き受けないか？ 今度は、冒険者の腕っ節を見込んでの依頼だ。
そこらを飛んでいる「ホーネット・スウォーム」を倒して「蜂の死骸」を集めてほしい。4袋ぶんほどあればいいか。
そんなもの何に使うかって？ まあ細かいことはいいじゃないか。さ、頼んだぞ。

ウォルセオフ : ん？ 「蜂の死骸」は集まったか？
おお、ご苦労、ご苦労。あとはこいつを酒の中に入れて……。と、俺特製「蜂漬けの毒酒」のできあがりだ。
ベントブランチ牧場の連中に前々から頼まれていたんだが蜂がなかなか集まらなくて遅くなっちゃった。
頼まれついでに届けてもらえないか？
届け先は「ベントブランチ牧場」の「マルゴ」だ。困ってるだろうから、早めに渡してやってくれ。



マルゴ : はい、私がマルゴですが……。届け物ですか？
あら、蜂漬けの毒酒ですね。ありがとうございます。蜂の死骸を集めるのは大変だったでしょう？
蜂漬けの毒酒は、舌にビリビリくる刺激的なお酒ですが、ギザールの野菜作りに欠かせない品なんです。
畑に蒔くことで、害虫避けになるんですよ。
あなたのお陰で、立派な野菜が育つでしょう。その野菜を食べたチョコボが遅く育ち、
巡り巡って、あなたにお礼ができますように。

癒しえぬ傷

- フィンネア : ふん……。ふたたび私に声をかけるとは、よほど仕事に困っているか、ただの世話焼きか。
ならばもうひとつ、仕事をくれてやる。「境樹」の付近に巣食う「ネクロファガス・スラッグ」の駆除をしてもらおう。
ヤツらの巣である「湿った窪み」に、この「気の抜けたエール」をまき、現れた魔物を一匹残らず駆除するのだ。
巣は全部で3箇所だ。さあ、さっさと行ってこい。
- フィンネア : ネクロファガス・スラッグどもを駆除したか。報酬を払うのだから、当然の働きだな。
ふん、どうせお前は、この近くにある「タムタラの墓所」がどういう場所か、知らんのだろう？
あそこは、5年前の霊災で死んだ仲間が眠る場所。お前が倒したスラッグは、墓所にまで出張っていき、
手向けられた花を食い荒らしていたのだ。
魔物が増殖し、餌が足りていないせいだ。決して魔物どもに悪意があるわけではない。だが、あまりにも……やるせないな。
……喋りすぎた。これは報酬だ。さっさと受け取れ。

博物学者マルセット

- マルセット : 私は博物学者の「マルセット」。「新エオルゼア博物誌」を執筆するため、今はマイコニド種の研究に取り組んでいるところなの。
そうだわ！ ねえ、キミ、どうせヒマなんでしょ？ 私の助手として、研究用の生体標本を集めてちょうだい！
第一章はトードスツールの生態調査なの！
まずは……この辺りに分布するマイコニド種、「トードスツール」を倒して、その「トードスツールの傘」を集めてきて！
- マルセット : この辺りに分布するマイコニド種、「トードスツール」を倒して、その「トードスツールの傘」を集めてきて！
フフ、フフフフ……。私の想像したとおりだわ！ 霊災前に採取していた傘と、あなたの集めた傘、
中に詰まっている胞子の密度が全然違う！
霊災で過酷さを増した森での生存競争を生き抜くため、飛散させる胞子の数を、増したのに違いはないわ！
この学説で、一旗あげてやるんだから！



マルセットの調査依頼

- マルセット : そうそう、学説の証明に協力してくれたキミを、名誉ある私の「第六助手」に任命するわ。そんな訳だからキリキリ働きなさい？
次の仕事は「生体ライトニングスプライト」の入手よ！ 「ライトニングスパーク」を適度に弱らせて、
この特製ガラス瓶に詰めこんできなさい！
- マルセット : 「生体ライトニングスプライト」は手に入ったかしら？ キミが「新エオルゼア博物誌」の隅っこに、協力者として
名を残すチャンスなんだから、キリキリ働きなさい？
ククク……。ほどよく生きてるようね、スプライトちゃん。キノコの傘から採取した胞子に、
この子を使ってビリビリ電流を流せば……。ア／／／／／ハッ！
私の学説が正しければ……。電流によって「生命の危機」を感じたキノコちゃんが、通常よりも早く、多く、育つはずよ！
「雷の多い年はキノコが豊作」って俗説……。そして、霊災後に増殖を続けるトードスツールと、
ライトニング・スプライトの因果関係を証明してみせるわ！

オブリオーの悲哀

オブリオー： もうイヤだ、もう疲れた……。命がけで魔物の蔓を集めてきたのに、ご苦労さまどころか、
「次は『芽吹の池』の水質調査よ」だなんて！
この人使いの荒さ、マルセット先生は妖異に違いない。その冒険者さん助けてください、僕はもうダメです。
僕の代わりに「芽吹の池の水」を取ってきてください！

オブリオー： もう何人いるかわからない「第一助手」なんか辞めたい……。でも、マルセット先生は調査が終わるまで、
帰らせてくれないだろうなあ……。
おおお、サンプルを採水してくれてたんですね！ これできつと……。いや、マルセット先生のことです。
また新しい用事を言いつけるに違いありません……。
ああ、天界のおじいちゃん、おばあちゃん……。そのうち、僕はそっちに行っちゃいそうです……。



もぎとれ！研究素材

マルセット： さあ、次なる研究よ、第九助手！ 「ハリストローパー」の「臭い胃袋」をもぎ取ってらっしゃい！
私の学説が正しければ、臭い胃袋の中には……。 クククク……。アハハハハッ！
ああそうだ、そのまま突っ込むと、貴女死ぬわよ。ハリストローパーの臭い息は、特に最悪なんだから。
ハリストローパーに挑むときは、この「マルセット特製錬金薬」を使うといいわ。
葬儀なんて面倒だから、ちゃんと使うのよ！

マルセット： 早く「臭い胃袋」の中身が見てみたいわ！ さあ、第……。ええと、十三助手だったかしら？
とにかく、さっそく解体するわよ！
……。やっぱり、トードスツールの成れの果てが大量にあるわ！ 霊災後にストローパーの生息数が、急激に増加した原因。
それはトードスツールにあったのよ！
ストローパーは、毒性のあるトードスツールを摂取して、体内に有毒ガスを発生させ……。これを武器に獲物を仕留める。
まさに食物連鎖ね！ さっそく原稿を執筆しないと……。
さて、これで今回の研究は終わり！ 次の研究が決まったら、またお願いするわね！ いろいろ助かったわよ、第四十二助手！

